

教育は一瞬にして永遠である

長い人生にあって、中学校生活の3年間は、ほんのひと時のことである。しかし、3年間は何ものにも替え難い凝縮された3年間であり、その後の人生を決定する3年間でもある。私たちの何気ない一言が、生徒に希望や喜びをもたらし、時には失望や悲しみを与えてしまうことも多々ある。一瞬一瞬を大切にしたい。そして、常に未来を展望した教育活動でありたい。

新型コロナウイルス感染症が流行して3年が経過した。マスク着用の考え方等感染症対策に変化はあるものの引き続き「学校運営ガイドライン」に沿って安全・安心な学校生活を継続する。本校は、創立40年を迎える。ここに至るまでには、教職員の率先垂範・師弟協働の指導姿勢が大きく関わっている。常に温かい心で生徒に接し、熱い眼差しで生徒を見守る姿勢が、本校生徒のよさを育成してきたものと考え。これまでの学校経営の積み重ねを踏まえ、さらに発展し、確かな学力を定着させ、豊かな人間性をはぐくむことに全教職員で取り組んでいきたい。引き続き「3C」というキーワードを示していく。Change（チェンジ）Chance（チャンス）Challenge（チャレンジ）を取組ませたい。

「三鷹市教育ビジョン2022（第2次改定）」が目指す子ども像

- 自分を愛し、他人を愛し、三鷹を愛する人
- 確かな学力と健康でたくましい心身を備え、自ら学び続ける人
- 規範意識を備え、社会の一員として自ら責任ある行動がとれる人
- 自分の考えをもち、他者と豊かなコミュニケーションがとれる人
- 国際的な視野とチャレンジする心をもち、積極的に社会や地域に貢献できる人

学園の教育目標

地域を愛し、自らの夢に向かって主体的に学び、心身ともにたくましい、国際性豊かな児童・生徒を育成する。

- 学び続ける人
- 心身ともにたくましい人
- 心豊かで共に生きる人

学校教育目標（目指す生徒像）

国際社会において信頼と尊敬の得られる日本人を育成する

- よく考え、進んで学ぶ生徒
- 自ら心と体を鍛える生徒
- よく協力し、他を思いやる生徒
- 地域に進んで奉仕する生徒

めざす学校像

生徒が登校を楽しみにする学校 教職員が力量と個性を発揮する学校
保護者・地域の期待と信頼に応える学校

めざす教職員像 生徒のよさを引き出せる教職員

教育公務員として

サービスの厳正に努め、全体の奉仕者としての自覚をもつ。

人間尊重の精神を持ち、体罰と人権侵害のない学校を作る。

信用失墜行為のないよう、教育公務員としての立場を自覚する。

専門職としての力量をつけるため、絶えず研究と修養に励む。

健康の維持増進を図り、ゆとりある心で生徒に接する。

重点的に取り組む指導について

「学習指導」において 学力向上へ取り組む

○本時のねらいと本時のながれを明確に示す。そして振り返る。

○地域資源・地域人財・外部の専門家等を生かした授業等に取り組む＝研究主題

○学習用タブレット・単焦点プロジェクター等を有効に活用する。

1. 一人ひとりが分かる授業
個別最適化 特性に応じた配慮 「週案」による確認を通して授業を振り返る。
2. 学習規律の確立（「三鷹『学び』のスタンダード（学校版）」の徹底）
出席確認 授業を受ける姿勢 家庭学習の習慣化指導 適切な課題 ノート指導
3. 魅力ある授業の創造
主体的・対話的で深い学び、ICT（タブレット）の活用、ユニバーサルデザイン
4. 基礎、基本の定着
質問教室・補充教室 長期休業中の補充教室 相互乗り入れ授業（数・保体）
5. 指導と評価の一体化 新学習指導要領の評価につなげる
評価基準、評価材料等の明確化 評価基準に基づいた評価を適正に実施するとともに
評価法の工夫、改善を行い、学習意欲の向上を図る。定期考査の受験
6. ゲストティーチャー、サポート、ボランティア、地域施設、等の活用
地域・専門家の教育力を生かした授業 専門家を招いた授業 地域未来塾
7. 小・中の交流 「三鷹市教育研究協力校」
おおさわ学園カリキュラムの改善・評価 協働 参観 研修の充実
8. 特別の教科 道徳
「考え、議論する道徳」問題解決的な学習や体験的な学習を重視した指導の改善・充
実 評価の研修 ⇒評価は年度末に
9. 総合的な学習の時間 継続した防災教育への取り組み
家庭や地域の協力を得ながら体験的学習を進め、社会性や問題解決を図る。資質・豊か
な人間性をはぐくむ。キャリア・アントレプレナーシップ・防災・環境
10. 新学習指導要領実施対応およびキャリア・パスポート
特に3観点の評価 キャリア・パスポート
11. リモート授業への準備
12. 三鷹市学力調査等の活用

生活指導・進路指導において 全教職員が示範、見過ごさない原則で生徒指導にあたる。

○いじめへの対応 法の定義に基づくいじめの認知及びその対応

○長期欠席・不登校への対応 「登校支援シート」A-Room等関係機関との連携

1. 人権教育の推進
安心して生活できる学校づくり いじめの未然防止、早期発見、早期対応
一人一人の把握（健康等々） 生徒は名字で敬称（さん）をつけて 掲示物
2. 社会性の育成
基本的行動様式の態度形成 教育相談的機能 落ち着いた雰囲気醸成
3. 安全指導
安全に対する意識高揚 安全点検の日 避難訓練の計画的実施（風水害対応も）
救急救命講習、セーフティ教室 薬物乱用防止教室等の開催 防災教育
4. 教育相談の充実

校内支援会議の充実 校内通級教室、SC、教育支援コーディネーター、関係機関等との組織的関わり タブレットの活用

5. 清潔で温かい環境の構築
校舎内外の環境整備の徹底 あいさつの習慣化 環境教育の取組 教室環境
掲示物等の配慮
6. 一致協力した指導態勢の確立
問題行動の早期発見と予防 問題の共有化と共通認識に基づいた指導
連絡・相談・報告・記録 アンケートや日常の会話の充実
7. 家庭・地域社会との連携・協力
相互に補完しなければならないこと 家庭への要求も明確に
関係諸機関との連携・協力「コミュニティ・スクールからスクール・コミュニティへ」
8. 進路指導計画に基づいた実践
「将来の夢」をもって学校生活を過ごせるように キャリア・パスポート
9. 体験的な学習の実施
職場体験 企業訪問 校外学習
10. キャリア教育の推進
「職業人に学ぶ」機会等の充実 アントレプレナーシップ教育への取組
11. 読書指導の推進
朝読書の実施 図書委員会等の活動
12. 個に応じた進路指導
情報の提供 個人情報取り扱い
13. ボランティア活動の推奨
奉仕の心を醸成する。地域と関わる
14. タブレットを利用した健康観察の継続 クラスルームの有効活用、個別対応

学校運営において 全教職員が学校全体の担任という意識をもつ。

- 「新しい生活様式」の継続・・・リスクを軽減した授業・行事等学校生活の工夫
- 保護者対応等情報の共有

1. 一致協力
全教職員が学校運営の一翼を担っている。
2. 研鑽の姿勢
学び続ける教師
他から学ぶ謙虚さをもって、教師としての見識、専門性を高める。
学園研究会を積極的に推進する。皆が授業公開を。
3. 輪と和の姿勢
仕事には責任をもってあたり、協力態勢も忘れずに。
学年・学級経営の充実
4. 保護者・地域との信頼関係の構築
情報交換を密にして「共育」の姿勢で。各種「たより」の活用
5. サービスの厳正
法令順守 整理整頓 意識高揚 起案の実施 提出書類等の期限厳守
6. 外部評価 授業アンケートの実施
学校運営 授業等にフィードバックを。
7. 経費節減へ
予算の計画的、効率的執行 節電、節水、再利用の徹底 ゴミの少量化、分別の徹底
8. 環境への意識向上

率先垂範

9. OJTの取組

若手を育て、自らも育つ 初任者の複数配置 初任者研修会への全員の関わり

10. PTA、CS委員会との連携

教員が積極的にかかわる

11. 学校教育の質の維持向上を目指した働き方改革

12 管理職の率先垂範

特別活動・その他において

学校は「人と人との関わり」について学習する場である。多くの感動体験を与えたい。人との関わりを大切にして集団行動のルールを学び、コミュニケーションの大切さ、楽しさにも気づかせたい。コロナ禍で体力低下懸念が報告されてはいるが・・・

1. 学校行事・学年行事の充実

ねらいを明確にし、創意工夫に努める。コロナ禍の工夫

2. 生徒会活動、委員会活動等の自主的で実践的な活動を推進する。

3. 部活動の存続

教職員や部活動指導員、指導助手の協力のもとに成立させ、生徒の心身の育成と個性伸長をめざす。

4. PTA活動や地域活動には、積極的・主体的に参加し、開かれた学校を創る。

5. 各種たより、保護者会、学年委員会等を充実させる。

6. 心身の健康と安全教育の推進

教科・領域等との関連性をもち各所における健康安全教育の構造化

7. 性教育指導・食育の推進・がん教育

全体計画に基づき指導していく。「性同一性障害」

8. 学校給食を通じたマナーの指導

給食指導を通して心構え、礼儀の指導 栄養士、給食主事との連絡を密に。

9. 特別支援教育（教育支援）

理解と実践 「ユニバーサルデザインによる誰にでも分かりやすい授業」→「学級内での特性に応じた配慮指導」→「校内通級教室」(→「A-Room」)→「教育支援学級」→「特別支援学校」

特に「校内通級教室」と「A-Room」(適応支援教室)の連携活用

10 デジタルシチズンシップ教育

11 オリンピック・パラリンピック教育のレガシーを継続

能力開発において

保護者・地域の教育に関する関心は高く、授業の内容・方法・評価等についても様々な意見・評価をいただく。私たちは、保護者・地域の声に謙虚に耳を傾け、よりよい学校づくり、授業づくり、指導力の向上に生かしていきたい。

教員に求められる基本的な4つの力

「学習指導力」 ⇒

「生活指導力・進路指導力」 ⇒

「外部との連携・折衝力」 ⇒

「学校運営力・組織貢献力」 ⇒

子供の変化に対応し、指導方法を工夫・改善、変革していくことが必要

社会状況の変化に対応し、今後特に身に付けることが必要